

## 横浜マック理事長就任にあたって

宮永 耕

先日の 2013 年度通常総会において役員  
の改選が行われました。これまで長期に  
わたり、献身的に理事長として当法人の代  
表を務めてこられた椎野前理事長が退任さ  
れ、新理事を加え新たな理事会が発足いた  
しました。その中で新役員が互選され、私  
が今期の理事長に選任されましたので、ご  
あいさつ申し上げます。

突然の、身に余る重責を感じつつ、与え  
られた役割の意味を受け止め、これからの  
理事会運営について繰り返し考え、以下の  
5つのことを目指していきたいと考えた次  
第です。

まず、私自身そして理事会として、1) 施設運営の現場スタッフのバックアップをいつも念頭に置くこと、今期だけでなくその先をも視野に含めて 2) 長期的な見通しを立て、それを文章に整理して関係者・機関とも共有すること、3) 運営のコンプラ

イアンス（公正適切な活動を通じ目的に寄与する）を高め、マックが行うサービスの社会的意義を周知すること、4) 当事者運動という原点から「回復者－支援者」関係を整え、心ざわしい役割分担を構築すること、その結果、5) 理事会組織の若返りを図り、役割を新たな未来の協力者に手渡していくための戦略を進めること、です。

これらは口にするのは容易くてもどれ一つもが大きな課題であり、また相互に関連するものであることも理解しておりますが、それでもなお30年にわたりマックのプログラムが成し遂げてきた回復援助の実績に希望をおいて、あきらめず確実に取り組んでいくことこそが使命と信じます。非力ではありますが、誠意を持って努力してまいります。

どうか、今後も横浜マックの事業にご指導ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。